

- 1 トラック2
- 2
- 3 レコード店
- 4
- 5 小さなながらマニアックなレコードを取り揃えている。客足はまばらながら、最近は
- 6 ネットでの販売が好調で問題ないらしい。莉良は原チャを店の前に停める。店内には
- 7 既に先輩がレジの前で頬杖をついて暇そうにしている。
- 8
- 9 カランビ上機嫌風に扉を開ける莉良
- 10 正面・中
- 11 おひさまよひやこがーす。
- 12
- 13 おお地味子とレジの机で肘をつきながらだらだらと迎える先輩
- 14 定型文を返す莉良
- 15
- 16 地味じゃないでーす
- 17 原石のままなんですか
- 18 って、先輩は相変わらずだるそうにしてるやね？
- 19
- 20 キヨロキヨロ辺りを見渡す莉良
- 21
- 22 店長さんは？
- 23
- 24

25 首を振る先輩。いつものことだと呟く。気を遣う莉良

26

27 ほんか、いつも先輩に任せっきりへ行つちやうんだから

28

29 がらんとした店内を見て

30

31 まー、老夫婦が営んでる純喫茶かっこいい静かですもんね

32 問題は…ない…のか

33

34 はつと気が付きフォローする

35

36 あー、でも先輩が居てこそですからね?

37 頬杖ほおづえついてますけど

38

39 愛想笑いする莉良

40

41 へへへ

42

43 話題を変えようと、先輩に進められた曲を聴いたことを思い出す

44

45 あー、そ、そ、そ、そ、聴かせましたよ

46 先輩の、これを聞いておけー！パンク・ヒモーショナルロック編！

47

48

- 49
- 50 先輩の選曲、神でしたと言わんばかりに
- 51
- 52 いやあー、めっちゃ揺さぶられました！
- 53
- 54 乳がか？と茶化す先輩
- 55
- 56 ^{わち}乳じゃなくて魂がですよー。
- 57
- 58 得意げな顔をしながらどの曲が好き？と尋ねる先輩
- 59 表情をみて胸を撫でおろし、名曲揃いだったで思案する
- 60
- 61 んー、むおおお…いや、ほんとに全部良かつたんですよ
- 62 ボイステ…ハル…green day…The Stooges…radio head
グリン デイ ザ ストゥーゲズ レディオ ヘッド
- 63
- 64 一瞬疑問が浮かんで
- 65
- 66 ん…なんどノットイへ入つてんだ？
- 67
- 68 莉良、Going Steady/駆け抜けて性春の詩を思い出し
- 69 慌てて我に返つて、少し救われたような気持ちになつて
- 70 あゝああ、
- 71 あの歌詞好きでした

- 72 星降る青い夜をひじる
- 73 ちょうど私、就活の帰りで遅くなつて真っ暗で
- 74 なんか、真っ黒のスーツといのまま私も飾りになるのかなつて…
- 75
- 76 なんだそれ、と先輩は首を傾げる
- 77 好き勝手に生きてそうな先輩にはわからんでしょうねと皮肉っぽく
- 78
- 79 んー、青いスーツを脱げない先輩には縁がないかもですね
- 80
- 81 話題を変えたくて、あとは?と尋ねてくる先輩
- 82
- 83 ん? あとですか?
- 84
- 85 ちよつとにやにやしながら
- 86
- 87 メハメハ〜ザ・50回転ズのmoney money~.
- 88
- 89 結局金かよと合いの手を入れる先輩
- 90 莉良は東京事変のキラーチューンの歌詞を引用して、にやつと
- 91
- 92 んー、贅沢するには財布だけじゃ足りませんし、
- 93 それに、貧しさは敵ですから
- 94
- 95

96

先輩は気だるそうに、パンクの何たるかを語り

97

莉良は意味がわかるような、解らないといった風に

98

はい?

100

パンクは金じや買えねえ?

101

生き方なんだ?

102

103 先輩の姿を見て、こうはなりたくないなあと思いながら

104

105 私に足りないものは…

106 人生経験と…

107 あと何だらか…